

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	学校づくり計画推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課			
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市教育振興計画 鳴門の学校づくり計画			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	20年度	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			教育行政	終期	未定
(小項目)				1			教育行政の充実
施策						4	
基本事業							

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 「鳴門の学校づくり計画」の計画に位置づけられている、市内の公立幼稚園、小学校及び中学校。 ※幼稚園の再編は、小学校の再編に準ずることとする。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の子どもたちが将来にわたってより質の高い教育を受けることができるように、より良い教育環境を整えるため、「鳴門の学校づくり計画」に則って、複式学級の解消や新しい学校づくりを目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		複式学級のある小中学校	3	3	3	2	2	校

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	瀬戸中学校・北灘中学校の再編については、円滑な統合に向けて小・中間の交流事業を進めるとともに、両校の関係者で組織する統合準備協議会において統合校に関する様々な事柄を協議、検討し、平成26年度からの開校に向けて準備を進めた。 また、長期計画に位置付けた瀬戸地区と北灘地区の幼稚園・小学校の学校再編についてご理解を得るため、保護者や地域の方々との意見交換を重ね、将来的な5校統合に向けての取組を開始することとした。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数	10	10	7	7	回
	2	地域の会合及び学校行事等での説明会の開催回数	1	12	6	6	回
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	複式学級のある小中学校		3	3	-	-	校
	目標達成率(実績/目標)		100.0		-	-	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)		1,457	3,632	176	-	-
	財源内訳	国	0	0	0		
		県	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	1,457	3,632	176		
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		13,034	13,034	13,034	-	-	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	2.0	2.0	2.0			
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		14,491	16,666	13,210	-	-	千円

【事務事業名：学校づくり計画推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	4月に瀬戸町と北灘町を校区とする新生「瀬戸中学校」を開校した。 また、長期計画に位置づけた瀬戸地区と北灘地区の幼稚園・小学校の再編を段階的に進めるため、円滑な統合に向けて幼稚園、小・中学校間の交流事業を実施するとともに、引き続き瀬戸小学校の保護者との意見交換を行い、学校再編についてのご理解を得られるよう取組を進める。また、北灘両幼少の休校関連事業が円滑に進むよう、学校・保護者・地域と連携して取り組む。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	子どもたちにより良好な教育環境を整えるため、学校・園の適正規模・適正配置を目指す。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 教育行政の充実 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	保護者や地域の方々のご理解の下、学校づくり計画に基づく学校再編を進めることにより、子どもたちにより良好な教育環境を整えることにつながっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	学校再編は子どもの教育だけでなく、地域社会への影響も大きく、地域や保護者のご理解なくしては進まないため話し合いを継続していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				